

蘇州府志



藝林拾葉

鶴見大学図書館新築記念貴重書目録

1986

鶴見大学図書館

はじめに

図書館長 池田利夫

新図書館開館を記念して刊行する『鶴見大学図書館の歩み』の別冊として、『藝林拾葉―鶴見大学図書館新築記念貴重書図録―』を作成することとなった。長年懸案の図書館が建った以上、ささやかながら宮々と蓄えてきた蔵書三十万冊余が、より有効に、広く深く利用されるよう期待するが、蔵書中の少数ではあるが、貴重書に属する図書も、本学の歴史と規模とから見て、必ずしも少なしとしない。尤も、貴重書と称しても、水準はさまざまである。善本、あるいは稀覯本と言っても同じであるが、一般にはその図書館の性格と歴史とに負うところが多い。本学の歴史は短期大学設立時より数えると三十三年であるが、我々の謂う貴重書が徐々に蒐集され始めたのは、文学部が開設されて数年以降であるから、まだ二十年とは経っていないであろう。しかも予算が乏しいので、質量ともに十分充実しているとは言えないが、それでも本学にとって、今や、かけがえのない貴重書群となった。

新図書館の三階には、杉板に張りめぐらされ、特別に一定の空調を常に保つよう設計された貴重書庫ができた。棚あり戸棚ありで、余裕綽々、まだ隙間だらけであるが、いつの日か、収蔵しきれなくなるのではないか、というのは一つの夢である。しかし現状でも、どういう貴重書が本学に所蔵されているかを知って頂く節目と思ひ、百点を選んで図録に編んだのである。

半分を国文学が占め、他は和洋の古医書、加えて伝典、それに若干の和洋の語学書より成るのは、全貴重書の構成を必ずしも正確には反映しないが、選書の結果がそうだった。短大時代より未整理の

まま引き継いだ和装本類には往来物が多数あり、近代文学関係の初版本群は、ここ十年余で組織的にかなり蒐められた。別置の、これら準貴重書をも含めて、いずれ目録を公刊したいと思う。

開館記念となるべく新収された貴重書が二点ある。第一は、道元禪師自筆『対大己法』断簡、すなわち道正庵切の新出である。道元・瑩山両禪師の教えを建学の精神に掲げる本学には洵にふさわしい発見であった。第二には、永恩具天平写経が五巻連続した巻として收藏され、しかもそのうち一巻には、天平頃書写の大般若波羅蜜多経を蒐集し、句切を施した永恩の、天福元年云々という、年齢まで記した長い奥書をも備えている。わが国写経の原点を示す経巻と言えよう。道正庵切は図書ではないので、別格として、この図録冒頭に掲出したが、永恩具経は改めて紹介することとしたい。

貴重書は一般書と異なり、保存が第一であるが、利用を全くされなのまま死蔵するのは一層本意ではない。各分野の研究資料として役立つことを願ってやまない。解題は国文学関係を文学部日本文学科の高田信敬助教授と池田が、古医書は、歯学部戸出一郎講師が分担執筆し、他は図書館の吉田道彦係長、樋川清司司書が担当した。表紙には本館蔵、伝狩野探幽原図、幽遠齋模写の『源氏物語五十四帖絵巻』の夕顔巻を用い、題字は、日本文学科の貞政研司教授に揮毫願った。また図録中の写真撮影は写真家の阿部棟也氏に依頼し、制作は雄松堂が担当した。関係各位の労を多としたい。

(昭和六十一年七月二十五日)

目次

1	本館發行部	第一冊	(1)	21
2	本館發行部	第二冊	(2)	21
3	本館發行部	第三冊	(3)	21
4	本館發行部	第四冊	(4)	21
5	本館發行部	第五冊	(5)	21
6	本館發行部	第六冊	(6)	21
7	本館發行部	第七冊	(7)	21
8	本館發行部	第八冊	(8)	21
9	本館發行部	第九冊	(9)	21
10	本館發行部	第十冊	(10)	21
11	本館發行部	第十一冊	(11)	21
12	本館發行部	第十二冊	(12)	21
13	本館發行部	第十三冊	(13)	21
14	本館發行部	第十四冊	(14)	21
15	本館發行部	第十五冊	(15)	21
16	本館發行部	第十六冊	(16)	21
17	本館發行部	第十七冊	(17)	21
18	本館發行部	第十八冊	(18)	21
19	本館發行部	第十九冊	(19)	21
20	本館發行部	第二十冊	(20)	21

口絵	〔対大己五夏闇梨法〕断簡	〔道元自筆〕	寛元二年写	断簡	一葉	〔1〕	〔2〕
1	本朝書策目録		江戸前期写	卷子	一軸	〔9〕	〔51〕
2	宋版〔仏説聖觀自在菩薩不空王秘密心陀羅尼經〕 〔残欠〕 附不空羅策神變真言經卷第一〔残欠〕		南宋紹興頃刊	折本	一帖	〔9〕	〔51〕
3	五山版仏果園悟禪師碧巖録		室町初期刊	袋綴	五冊	〔10〕	〔51〕
4	古活字版塵滴問答		元和寛永中刊	袋綴	一冊	〔10〕	〔52〕
5	朝鮮版黄帝内經素問 附素問入式運氣論奥		万曆四三年刊	袋綴	一〇冊	〔10〕	〔52〕
6	類經		江戸中期刊	袋綴	二四冊	〔11〕	〔53〕
7	傷寒日期纂攷〔森立之自筆稿本〕		文久二年写	袋綴	一冊	〔11〕	〔53〕
8	外台秘要方〔山脇東洋板〕		延享三年序刊	袋綴	二四冊	〔11〕	〔53〕
9	古活字版明医雜著		慶長元和中刊	袋綴	一冊	〔12〕	〔54〕
10	咽喉舌齒伝方〔口中抄、三宅意安筆〕		寛政四年写	袋綴	一冊	〔8〕	〔54〕
11	口舌治方録〔口中抄、阿川周栄筆〕		弘化三年写	袋綴	一冊	〔8〕	〔55〕
12	口中万病治方〔口中抄〕		寛文四年写	袋綴	一冊	〔8〕	〔55〕
13	諸疾禁好集〔梅寿板〕		寛永三年刊	袋綴	一冊	〔12〕	〔55〕
14	きたいなめい医難病療治		嘉永六年刊	錦絵	三枚	〔8〕	〔56〕

15	解体新書	安永三年刊	袋綴	五冊	(12・41)	(56)
16	(西説) 医範提綱釈義 附内象銅版図	弘化二年刊	袋綴	一冊	(13)	(56)
17	(臟府真写) 解体発蒙	文化一〇年刊	袋綴	五冊	(13)	(57)
18	(刑屍腑分絵画帳)	江戸後期写	折本	一帖	(14・15)	(57)
19	瘍医新書誘導篇	文政八年刊	袋綴	四冊	(16)	(58)
20	齒之養生法	明治一二年刊	洋仮綴	一冊	(16)	(58)
21	保齒新論	明治一四年刊	袋綴	二冊	(16)	(58)
22	仮名文字遣	慶長頃刊	袋綴	一冊	(17)	(59)
23	和蘭訳筌本編	江戸後期写	袋綴	一冊	(17)	(59)
24	(改正増補) 英和对訳袖珍辞書	慶応三年刊	袋綴	一冊	(18)	(60)
25	詠歌大概(紹巴筆)	天正元年写	列帖装	一冊	(18)	(60)
26	(秀歌之体大略注) (伝三条西実隆筆)	室町中(後期写)	袋仮綴	一冊	(19)	(61)
27	井蛙抄	天文一四年写	袋綴	一冊	(19)	(61)
28	(未来記雨中吟抄) (山科言経筆)	元龜四年写	袋綴	一冊	(20)	(61)
29	詠歌大概(聞書) (岡田賢桃筆)	永祿七年写	袋綴	一冊	(20)	(62)
30	愚秘抄下卷	室町末期写	卷子	一軸	(20)	(62)
31	(詠歌口伝書類(切紙))	江戸初期写	継紙	八卷	(21)	(63)
32	「万葉集抄」等平賀元義自筆草稿類一括	天保頃写	箱入	一箱	(21)	(63)

33	万葉集問答 (田中道麿問・本居宣長答自筆原本)	安永七(天明二年写)	袋綴	四冊	(22)	(64)
34	古今和歌集 (契沖筆)	延宝貞享頃写	列帖装	二冊	(22)	(64)
35	後撰和歌集 (零本)	室町初期写	列帖装	一冊	(6)	(64)
36	新勅撰和歌集上 (伝後伏見院宸筆)	鎌倉末期写	列帖装	一冊	(6)	(65)
37	新勅撰和歌集下	鎌倉末期写	列帖装	一冊	(6)	(65)
38	長秋詠藻 (零本、伝蜷川親当筆)	室町中期写	卷子	一軸	(23)	(65)
39	〔順徳院御百首〕	室町末期写	袋綴	一冊	(24)	(66)
40	〔藤川百首〕 (伝三条実量筆)	室町中期写	卷子	一軸	(23)	(66)
41	水無瀬殿恋十五首歌合・水無瀬釣殿六首歌合	室町後期写	袋綴	一冊	(24)	(67)
42	〔定家卿百番自歌合・家隆卿百番自歌合〕	室町末期写	袋綴	一冊	(24)	(67)
43	時代不同歌合	室町初期写	列帖装	一冊	(23)	(67)
44	〔後鳥羽院御自歌合〕	室町前期写	卷子	一軸	(25)	(68)
45	老葉 (零本、伝荒木田守武筆) 附湯山三吟	室町中期写	卷子	三軸	(25)	(68)
46	賦何人連歌 (文明十八年九月二十三日)	文明一八年写	卷子	一軸	(26)	(69)
47	新撰菟玖波集 (伝飛鳥井雅康・大内政弘筆)	室町中期写	列帖装	三冊	(26)	(69)
48	〔三島千句〕 (伝宗祇筆)	室町中期写	大和綴	一冊	(27)	(69)
49	賦何船連歌 (伝寿慶筆)	明応頃写	卷子	一軸	(27)	(70)
50	〔宗祇名所百韻〕 (伝宗祇筆)	室町中期写	袋綴	一冊	(27)	(70)

51	〔広幢連歌前句付〕〔広幢自筆・宗祇自筆点〕	室町中期写	卷子	一軸	(28)	(71)
52	春夢草(肖柏自筆)	永正一二年写	列帖装	一冊	(7)	(71)
53	春夢草(伝肖柏筆)	室町末期写	袋綴	一冊	(28)	(71)
54	〔伊予千句〕〔周桂筆〕	天文六年写	列帖装	一冊	(28)	(72)
55	心前〔独吟千句〕 附宗祇独吟名所百韻	天正四年以降写	列帖装	一冊	(29)	(72)
56	〔毛利千句注〕	室町末期写	袋綴	一冊	(29)	(73)
57	古活字版藻塩草	寛永中刊	袋綴	一〇冊	(29)	(73)
58	古活字版観世流謡本〔龍田・呉羽〕	慶長中刊	列帖装	二冊	(30)	(74)
59	常陸国風土記	江戸後期写	袋綴	一冊	(7)	(75)
60	伊勢物語(近衛信尹筆)	慶長初年頃写	列帖装	一冊	(30)	(75)
61	源氏物語須磨卷(伝冷泉為相筆)	鎌倉後期写	列帖装	一冊	(4)	(76)
62	源氏物語須磨卷(伝二条為定筆)	南北朝写	列帖装	一冊	(5)	(76)
63	源氏物語賢木卷	室町初期写	列帖装	一冊	(31)	(76)
64	源氏物語(越国文庫旧蔵)	室町後期写	列帖装	四九冊	(31)	(77)
65	古活字版源氏物語	寛永中刊	袋綴	五四冊	(32)	(77)
66	〔河海・花鳥余情抄出〕	室町後期写	袋綴	三冊	(32)	(78)
67	〔弄花抄〕〔零本〕	室町後期写	袋綴	一冊	(33)	(78)
68	〔源氏物語系図〕	室町末期写	折本	一帖	(33)	(79)

69	三源一覽卷二(零本)	室町後期写	袋綴	一冊	(34)	(79)
70	古活字版源氏物語抄(紹巴抄)	寛永中刊	袋綴	二〇冊	(34)	(80)
71	〔紫塵愚抄〕(零本)	室町末期写	袋綴	一冊	(34)	(80)
72	源概集(零本、伝中院通勝筆)	室町末期写	列帖装	一冊	(35)	(81)
73	源氏物語拔書抄	江戸初期写	列帖装	四冊	(35)	(81)
74	与謝野晶子草稿二点〔梗概〕源氏物語・〔中部山岳抄ノート〕	昭和写	折本ノート	二冊	(36)	(82)
75	源氏双六(袖珍本、付うちやうの事一枚)	江戸後期刊	袋綴	二八冊	(36)	(82)
76	古活字版狭衣〔物語〕(心也板)	元和九期刊	袋綴	八冊	(37)	(83)
77	四十二の物あらそひ	室町末期写	袋綴	一冊	(37)	(83)
78	本朝桜陰比事	元禄二年刊再版	袋綴	五冊	(38)	(84)
79	柳亭翁著書目録(笠亭仙果自筆)	天保五年写	袋綴	一冊	(7)	(84)
80	土佐日記(契冲自筆付箋縫付本)	寛永二〇年刊	袋綴	一冊	(38)	(85)
81	和漢朗詠集(伝後京極良経筆)	鎌倉初期写	卷子	二軸	(3)	(85)
82	元興寺伝来『柿経』	鎌倉写		二七葉	(39)	(86)
83	貝多羅本ビルマ語経典	書写年不明		一五葉	(39)	(87)
84	シヨメール『日用百科事典』(蘭訳)	一七四三年刊	洋装	二冊	(40)	(98)
85	ケンペル『日本誌』(英語版初版第二刷)	一七二八年刊	洋装	一冊	(40)	(98)

86	レヤード『ニネヴェの遺跡』	一八五三年刊	図版集	二冊	(40)	(97)
87	クルムス『ターヘル・アナトミア』(蘭訳)	一七三四年刊	洋装	一冊	(41)	(97)
88	フォシャル『歯科外科医』(第二版)	一七四六年刊	洋装	二冊	(41・42)	(96)
89	バードモア『歯と歯齦の疾病と奇形に関する論考』	一七六八年刊	洋装	一冊	(42)	(96)
90	ハンター『人の歯の博物学』(第二版)	一七七八年刊	洋装	一冊	(42)	(95)
91	フォックス『人の歯の博物学』	一八〇三年刊	洋装	一冊	(42)	(95)
92	シャンポリオン『エジプト語文法』・『エジプト語辞典』	一八三六〜四三年刊	洋装	二冊	(43)	(94)
93	メドハースト『英和・和英語彙辞典』	一八三〇年刊	洋装	一冊	(43)	(94)
94	ブレア『墓』(ブレイク画)	一八〇八年刊	洋装	一冊	(44)	(93)
95	チャップ・ブック『ジャックとジル』他	一八二〇〜五〇年頃刊	洋装	一七冊	(44)	(92)
96	『粘土板文書』(古代メソポタミア)	紀元前二〇〇〇年頃		九点	(45)	(92)
97	『円筒印章』(古代メソポタミア)	紀元前三〇〇〇年頃		二点	(46)	(91)
98	『パピルス文書』(零葉、古代ギリシャ文字)	三世紀頃写		一葉	(46)	(91)
99	『新アジア図』(オルテリウス刊)	一五九五年刊	地図	一葉	(47)	(90)
100	テイセラ『日本図』(オルテリウス刊)	一五九五年刊	地図	一葉	(47)	(90)